

リストン エンビクリーン

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください

- ◆本説明書は事故防止のため、使用される前に必ずお読みください。
- ◆本説明書に記載されている事項を理解されたうえで、適正な使用を行ってください。
- ◆本説明書は大切に保管ください。

リストンエンビクリーンは建物床面の塩化ビニルシート（防滑シート）の汚れ落としの為に開発された洗浄剤です。中性洗剤やアルカリ洗剤では落とすことができなかった汚れを素早く落とします。本品は酸性の洗浄剤です。洗浄の不具合を防止するために洗浄テストを行い、結果の確認をした後に本作業を実施してください。洗浄テストで異常が確認された場合には使用を差し控えてください。

標準塗布量と希釈の目安・使用する機材装備について

標準塗布量：希釈液1Lあたり約8㎡使用
（本品をバケツに適量取り水で希釈）

■ 重度の汚れ…3～5倍希釈

【長期間洗浄が行われておらず、水垢が多く黒ずみがある場合】

モップ等で塗布後、約10分間放置し、高圧洗浄機（※サーフェスクリーナーの装着を推奨）で洗浄します。汚れがひどい場合は5倍希釈液で2回洗浄すると、水垢ならほぼ完全に落とせます。

■ 中度の汚れ…5倍希釈

【ひどい汚れではないが、通常の洗剤では汚れが落ちない場合】

上記作業を1回で水垢汚れが落とせます。

■ 軽度の汚れ…5～10倍希釈

【日常清掃や少し汚れが目立ってきた場合】

モップ等で塗布後、10分以上放置し、ナイロンブラシを装着したポリッシャーやデッキブラシ等で洗浄後、水で洗い流します。

■エンビクリーンは主に水垢対応です。有機系（食品、油、飲み物等）の汚れが残った場合は、リストンアルカリクリーナーを部分的に使用すると全体的にムラなく美しく仕上がります。

■凸凹があるシートの洗浄なので、デッキブラシや短毛のナイロンブラシの使用も効果的です。

■フロアポリッシャーを使用する場合は、極細ブラシ・真鍮ブラシを併用すると効果的です。

1 洗浄テスト

経年により素材が劣化していたり、磨耗が激しい場合などは、仕上がりが均一にならないことがあります。目立たない場所でテスト作業を行い、ツヤ落ちや色抜けを起こさないかどうかの確認をします。

■上記の標準塗布量と希釈の目安を参考にして希釈液を作ります。

- ① 刷毛・筆等に本希釈液を付け、塩ビ材（目立たない場所）に小さい範囲で塗布します。
 - ② 刷毛・ブラシ等で汚れている部分に塗布し凸凹の目に沿ってブラッシングします。
 - ③ 実作業を想定して、10分程度放置します。
 - ④ きれいなウエスで水拭きします。
 - ⑤ ツヤ落ちや色抜けが無いかを確認します。
もし、影響がある場合には、清水を加え希釈倍率を上げて再度確認します。
- *表面にワックス・保護剤が塗布されている場合は先行して除去してください。
*ペンキ・コーキング・油等の除去は専用のクリーナーを使用してください。

2 本洗浄

- 洗浄テスト作業の結果に基づき本洗浄作業を実施します。
- テスト時に決定した希釈液をモップ等で均一に塗布します。
- *直接水垢に反応するタイプの洗浄剤の為、掛かり具合が均一でないとならなくなり易くなります。

…………… リストンエンビクリーン使用上の注意点 ……………

- * 容器を移し替えないでください。
- * 他の薬品と混ぜないでください。
- * 本品の取扱いの際には、洗浄液が直接皮膚に触れないように、ゴム手袋、ゴム長靴、保護マスク、保護メガネ等の保護具を着用の上、作業してください。
- * 皮膚に付着した場合には、清水でよく洗い流してください。
- * 目に入った場合には、清水でよく洗うと共に、念のため医師の診察を受けてください。
- * 誤って飲み込んだ場合には、牛乳等を飲ませた後、嘔吐させるとともに速やかに医師の診察を受けてください。
- * 保管は直射日光を避け、密封保管してください。
- * 金属や塗装面に薬品が付着しますと変色する場合がありますので、予め塗布試験を行った上、ご使用ください。
- * 植栽物に直接薬品が付着しますと変色する場合がありますので、養生は十分に行ってください。
- * 本容器を廃棄する場合には、中身を完全に除去した後、容器内を十分水洗し廃棄してください。
- * 薬品成分が残る場合がありますので、十分な量の水で流してください。
- * 製品の危険性、有害性については製品安全データシート（MSDS）を参照してください。

…………… 作業上の注意点 ……………

- * 本品は既存床塩ビシートが水垢で汚れている時に使用します。新品の素材は対象外です。
- * 作業前に床・壁・扉等のコンクリート・金属・ガラス・木部・植栽に洗剤が掛からない様に適切に養生を行ってください。
- * 階段の洗浄の際、段鼻部に金属ネジがある場合は十分な量の水で流すか、中和作業をしてください。
- * 洗浄薬品が残留しますと、薬品成分により表面が白くなる場合がありますので、必ず十分な量の水で洗い流してください。
- * 本希釈液が付着した状態で放置すると使用機材（ポリッシャー等）が錆を発生する場合がありますので、使用後は清水でよく洗い流してください。
- * 本希釈液を使用し、汚れを洗浄後に十分な水で洗浄を行えば本品の酸性分はかなり低減されますが、中和処理が必要な場合にはリストン中和剤をご使用ください。
- * 洗浄排水が排水口に直接流れる事（植栽がある所に流れない事）を確認してください。
- * その他の不明事項がありましたら、本品取扱店及び弊社にご相談ください。